



2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社NSD
 コード番号 9759 URL <http://www.nsd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理・IR室長 (氏名) 八木 清公 TEL 03-3257-1250
 四半期報告書提出予定日 2017年11月14日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績 (2017年4月1日～2017年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	28,765	7.1	3,586	18.4	3,641	19.7	2,313	20.1
2017年3月期第2四半期	26,859	8.4	3,028	14.8	3,041	13.9	1,926	23.0

(注) 包括利益 2018年3月期第2四半期 2,421百万円 (25.6%) 2017年3月期第2四半期 1,928百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	54.48	54.47
2017年3月期第2四半期	44.83	44.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第2四半期	51,075	43,111	83.2
2017年3月期	50,910	43,977	85.2

(参考) 自己資本 2018年3月期第2四半期 42,513百万円 2017年3月期 43,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	-	0.00	-	44.00	44.00
2018年3月期	-	0.00	-	-	-
2018年3月期 (予想)	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

・配当予想の修正については、本日 (2017年10月30日) 公表いたしました「2018年3月期 (第49期) 配当予想の修正 (増配) に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2018年3月期の連結業績予想 (2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,270	5.5	7,790	8.6	7,950	8.9	5,220	14.9	123.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

・連結業績予想の修正については、本日 (2017年10月30日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期2Q	47,172,160株	2017年3月期	48,172,160株
② 期末自己株式数	2018年3月期2Q	4,935,674株	2017年3月期	5,255,654株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期2Q	42,471,348株	2017年3月期2Q	42,967,463株

(注) 期末発行済株式数の減少1,000千株は、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却であります。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

- ・四半期決算補足説明資料は、2017年10月31日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済につきましては、米国新政権の政策に関する不確実性や東アジアでの地政学的リスクの影響から先行き不透明な状況が続きましたが、企業業績が高水準を維持したこと等から、個人消費・設備投資が持ち直すとともに、雇用情勢の改善が続くなど、景気は回復基調で推移しました。

情報サービス産業におきましては、金融機関によるシステム再構築に係る大型投資、オリンピックや働き方改革への対応に向けた開発需要のほか、企業の競争力強化や収益拡大につながる投資の拡大もあり、受注環境は引き続き良好に推移しました。

このような状況の中、当社グループは3ヵ年の中期経営計画の最終年度を迎え、計画に掲げた目標を達成すべく、積極的な受注活動を継続するとともに、医療IT・教育ITにおける自社製品の展開など、サービス利用型ビジネスへの取り組みを強化・推進してまいりました。さらに、新技術へのニーズがより一層高まるなか、4月に新設した3つの専門部署を核として、新技術への対応力を強化し、新たなビジネス領域の拡大を進めております。

その結果、当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

売上高	28,765百万円	(前年同期比 7.1%増)
営業利益	3,586百万円	(前年同期比 18.4%増)
経常利益	3,641百万円	(前年同期比 19.7%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,313百万円	(前年同期比 20.1%増)

当第2四半期連結累計期間における売上高につきましては、主力のシステムソリューションサービス事業が順調に推移したことから、前年同期比7.1%の増収となりました。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、増収による利益の増加や子会社の販売管理費の減少等により、いずれも前年同期比大幅な増益となりました。

また、事業のセグメント別の業績は、以下のとおりとなりました。

<システムソリューションサービス事業>

システムソリューションサービス事業につきましては、システムの受託開発において、金融業からの受注が引き続き高水準であったことや、通信業・商業・公共団体からの受注が大きく伸びたことから、売上高は、前年同期比7.1%増収の28,575百万円となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業につきましては、賃貸不動産の空室率を前年同様に低位に抑えたことから、売上高は前年同期比横ばいの189百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比165百万円増加し、51,075百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加1,022百万円、受取手形及び売掛金の減少825百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1,031百万円増加し、7,964百万円となりました。主な増減要因は、賞与引当金の増加1,208百万円、未払法人税等の減少168百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比866百万円減少し、43,111百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加2,313百万円、配当金支払いによる減少1,888百万円、自己株式の取得による減少1,364百万円であります。この結果、自己資本比率は83.2%（前連結会計年度末85.2%）となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、25,898百万円となり、前連結会計年度末比1,022百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益3,543百万円を主要因に、4,286百万円となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、48百万円となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入203百万円などによる資金の増加と、有形固定資産の取得による支出63百万円、無形固定資産の取得による支出59百万円などによる資金の減少によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、3,302百万円となりました。

これは主に、配当金の支払額1,888百万円、自己株式の取得による支出1,364百万円などによる資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績につきましては、受注環境が良好に推移したこと等から、売上高・利益とも計画を上回る結果となったため、2017年4月27日に公表しました通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

連結業績予想の修正(2017年4月1日~2018年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	57,000	7,450	7,550	5,000	117.74
今回修正予想 (B)	58,270	7,790	7,950	5,220	123.25
増減額 (B - A)	1,270	340	400	220	—
増減率 (%)	2.2	4.6	5.3	4.4	—
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	55,234	7,173	7,300	4,543	105.81

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,989,365	26,012,238
受取手形及び売掛金	11,209,072	10,383,639
商品及び製品	141,869	69,303
原材料及び貯蔵品	7,279	9,790
その他	751,226	760,124
貸倒引当金	△25,063	△22,343
流動資産合計	37,073,750	37,212,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,483,227	3,399,872
土地	4,770,117	4,769,275
その他(純額)	355,972	258,930
有形固定資産合計	8,609,318	8,428,078
無形固定資産		
のれん	557,156	524,065
その他	589,962	550,255
無形固定資産合計	1,147,118	1,074,321
投資その他の資産		
投資有価証券	1,972,324	1,853,253
その他	2,108,658	2,508,240
貸倒引当金	△760	△760
投資その他の資産合計	4,080,223	4,360,733
固定資産合計	13,836,660	13,863,132
資産合計	50,910,410	51,075,886
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,172,776	2,103,901
未払法人税等	1,514,718	1,346,196
賞与引当金	405,979	1,614,771
役員賞与引当金	—	18,000
株主優待引当金	56,086	114,079
その他	2,375,908	2,316,175
流動負債合計	6,525,469	7,513,124
固定負債		
退職給付に係る負債	341,107	389,810
その他	66,023	61,470
固定負債合計	407,130	451,280
負債合計	6,932,599	7,964,405

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,205,864	7,205,864
資本剰余金	6,892,184	6,892,184
利益剰余金	37,846,792	36,887,202
自己株式	△6,987,122	△6,966,437
株主資本合計	44,957,719	44,018,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	351,354	368,515
土地再評価差額金	△1,005,325	△1,005,325
為替換算調整勘定	243,250	237,389
退職給付に係る調整累計額	△1,172,407	△1,105,519
その他の包括利益累計額合計	△1,583,128	△1,504,939
非支配株主持分	603,219	597,605
純資産合計	43,977,810	43,111,480
負債純資産合計	50,910,410	51,075,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	26,859,973	28,765,382
売上原価	21,593,260	23,198,947
売上総利益	5,266,713	5,566,435
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	811,892	699,387
賞与引当金繰入額	72,346	90,219
役員賞与引当金繰入額	35,000	18,000
退職給付費用	25,843	21,031
福利厚生費	265,372	238,652
賃借料	179,420	182,022
減価償却費	61,409	62,886
研究開発費	91,533	27,154
株主優待引当金繰入額	60,000	59,854
その他	635,778	580,915
販売費及び一般管理費合計	2,238,597	1,980,123
営業利益	3,028,115	3,586,311
営業外収益		
受取利息	2,187	1,877
受取配当金	20,993	19,162
為替差益	—	12,257
その他	28,200	26,960
営業外収益合計	51,381	60,257
営業外費用		
為替差損	32,077	—
支払手数料	3,009	2,894
租税公課	2,056	1,990
その他	1,147	202
営業外費用合計	38,290	5,087
経常利益	3,041,206	3,641,481
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,241
その他	438	93
特別利益合計	438	34,335
特別損失		
減損損失	271	118,902
その他	—	13,309
特別損失合計	271	132,211
税金等調整前四半期純利益	3,041,373	3,543,605
法人税等	1,089,360	1,201,109
四半期純利益	1,952,013	2,342,496
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,791	28,829
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,926,221	2,313,666

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	1,952,013	2,342,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,337	17,161
為替換算調整勘定	△88,447	△4,873
退職給付に係る調整額	73,803	66,888
その他の包括利益合計	△23,981	79,175
四半期包括利益	1,928,031	2,421,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,903,970	2,391,855
非支配株主に係る四半期包括利益	24,060	29,816

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,041,373	3,543,605
減価償却費	207,502	215,739
減損損失	271	118,902
のれん償却額	32,558	34,705
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,199,914	1,208,785
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	35,000	18,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,271	△2,719
株主優待引当金の増減額(△は減少)	53,814	57,993
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30,452	59,637
受取利息及び受取配当金	△23,180	△21,040
売上債権の増減額(△は増加)	1,165,812	826,877
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,221	70,186
その他の流動資産の増減額(△は増加)	48,768	△17,134
その他投資等の増減額(△は増加)	1,537	△355,683
仕入債務の増減額(△は減少)	59,821	△69,050
未払消費税等の増減額(△は減少)	△257,067	219,638
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△513,618	△341,273
その他	22,541	△5,326
小計	5,075,009	5,561,843
利息及び配当金の受取額	23,839	20,747
法人税等の還付額	—	5,877
法人税等の支払額	△1,235,144	△1,302,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,863,704	4,286,129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,060,224	△40,000
定期預金の払戻による収入	2,040,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△59,478	△63,117
無形固定資産の取得による支出	△44,506	△59,029
投資有価証券の取得による支出	△200,000	△22,600
投資有価証券の売却による収入	—	203,211
その他	169	△10,222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△324,038	48,242
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,609,827	△1,888,326
非支配株主への配当金の支払額	△39,730	△35,430
自己株式の取得による支出	△1,009,362	△1,364,245
その他	△13,144	△14,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,672,065	△3,302,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,718	△9,392
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	832,882	1,022,710
現金及び現金同等物の期首残高	20,942,776	24,875,708
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,775,658	25,898,419

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率を用いて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	システムソリ ューションサ ービス事業	不動産賃貸事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,670,781	189,191	26,859,973	—	26,859,973
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,960	10,960	△10,960	—
計	26,670,781	200,152	26,870,934	△10,960	26,859,973
セグメント利益	2,981,427	69,125	3,050,552	△22,437	3,028,115

(注) 1. セグメント利益の調整額△22,437千円には、セグメント間取引消去31千円、全社費用△22,468千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	システムソリ ューションサ ービス事業	不動産賃貸事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,575,529	189,853	28,765,382	—	28,765,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,808	9,808	△9,808	—
計	28,575,529	199,661	28,775,190	△9,808	28,765,382
セグメント利益	3,531,255	76,882	3,608,138	△21,826	3,586,311

(注) 1. セグメント利益の調整額△21,826千円には、セグメント間取引消去32千円、全社費用△21,858千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。